

船室について

- 全室シャワー・トイレ・冷蔵庫完備です。
- 船室は、上段ベッド付きとなる場合がございます。指定はお受けできません。
- バルコニースイート、ジュニアスイートのお一人様利用は、③旅行代金の200%となります。
- バルコニースイートとジュニアスイートは、洗浄機能付きトイレを完備しています。
- 相部屋申し込みの客室では、ルームサービスがご利用いただけません。また、シャワー、トイレ、ロッカーなどの設備は同室者と共用です。
- 旅行開始時13歳未満（中学生を除く）のお子様連れでの相部屋申し込みはお受けできません。
- バジェットを除くフレンドリータイプの船室は、2段ベッドの下段指定が可能です（有料）。ベッド下のスペースは同室者との共用です。
- ファミリープランもご利用ください/大人1名につき未就学児1名無料（詳しくは弊社までお問い合わせください）

旅行条件(要旨) - 詳しい旅行条件書をお渡しいたしますので、内容をご確認のうえお申し込みください-

本旅行条件書は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。

1. 募集型企画旅行契約
本旅行はNGOピースボートがコーディネートし、株式会社ジャパングレイス（以下「当社」といいます）が企画・実施する旅行です。本旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます）を締結することになります。

2. 旅行のお申し込み
当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入のうえ、申込金として旅行代金の5%にあたる金額（別紙参照）を添えてお申し込みください。当社が申込金の受領確認が出来た時点で正式なお申し込みとなります。

3. 旅行代金に含まれるもの
①旅行日程に明記した船舶の運賃 ②船内宿泊（ご請求書に記載された船室クラス）、船内イベント（一部有料あり）の代金 ③明示した食事回数の料金 ④船舶による手荷物運搬料金 ⑤添乗員の同行費

4. 旅行代金に含まれないもの（上記3項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を以下に例示いたします。）
①オプションツアーの代金 ②船室クラス変更による追加代金 ③渡航手数料費用（ビザ代・渡航手続代行手数料・予防接種料金等） ④船内のチップ ⑤ポートチャージ（港湾施設使用料等） ⑥国際観光旅客税 ⑦海外旅行保険料、電話代、飲み物代などの個人的費用 ⑧超過手荷物料金 ⑨ご自宅から発着地までの交通費・宿泊費・手荷物運搬費 ⑩船舶のフューエル（燃油）サーチャージ

5. 旅行代金のお支払い
①旅行開始日の前日から起算してさかのぼって60日目に当たる日以降の当社の定める日までに申込金を除いた旅行代金及び諸費用等をお支払いください。②お申込金は使用客船の貸切代金の一部に使用いたします。

6. 特別補償
当社はお客様が企画旅行中に、急激かつ偶然な外来の事故により被られた一定の損害についてあらかじめ定める額の補償金および見舞金を支払います。

7. 取消料
お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。

取消日		取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	90日前以降61日前まで	旅行代金の5%
	60日前以降31日前まで	旅行代金の10%
	30日前以降21日前まで	旅行代金の20%
	20日前以降3日前まで	旅行代金の30%
	2日前（前々日）以降旅行開始日まで	旅行代金の50%
旅行開始後または無連絡不参加		旅行代金の100%

本旅行の使用客船は貸切船舶によるものであり、いかなる理由であれ、旅行開始後の船舶に係る旅行代金の払い戻しはありません。

8. その他
①クルーズにご参加の場合は、海外旅行保険にご加入されることを必須といたします。②旅行条件に定めない事項は当社旅行業約款「募集型企画旅行契約の部」によります。なお、当社約款は当社ウェブサイトよりご覧いただけます。③このパンフレット記載内容は2022年7月19日を基準としています。

ビザ（査証）取得について

- クルーズに必要なビザ（査証）は、弊社にて取得手続きの代行をいたします。
- 参加いただくオプションツアーによっては、ビザ取得の為の追加代金や追加書類をご提出いただく場合があります。
- 本パンフレット記載のビザ取得代金は日本国籍の方の代金です。日本国籍以外の方もお気軽にお問い合わせください。
- 米国入国には、ESTA認証（米国電子渡航認証システム）の事前取得が義務づけられています。（有料：21米ドル）
- シェンゲン協定により、ご出発前のシェンゲン加盟国への旅行日数によって、当クルーズにご参加いただけない場合がございます。
- 2023年より欧州渡航情報認証制度（ETIAS）の導入が予定されています。

ご確認事項

- 天候や現地事情の影響により、入出港日時の変更や抜港になる場合がございます。
- 本船が沖合に停泊し、テンドーボートなどを使用して上陸する寄港地では、気象条件によっては上陸できないこともございます。
- この旅行は地球の遠隔地への航海であり、天災地変、政治状況の悪化、現地官憲の命令など、当社が関与し得ない事由が生じた場合、乗船客の安全を第一と考え、また航海の安全を考慮し、お客様に事前に、あるいは緊急の場合は変更後にお知らせし、旅行日程、旅行サービスの内容を変更する場合がございます。
- 航海日程は船長や船会社の判断によっても変更される場合があります。
- 上記のような不可抗力による変更の場合でも、払い戻しは一切ございませんので、予めご了承ください。
- 本パンフレット記載の寄港地に関する案内文および写真の一部は、オーバerlandツアー含むオプションツアー（有料）に参加された場合にお楽しみいただける内容を含んでおります。
- オーバerlandツアーは寄港地で一時下船して別の港で再合流するツアーです。
- 本パンフレットに掲載の写真は、お客様にピースボートクルーズのイメージをお伝えするものであり、過去に使用した別の客船で撮影された写真も含んでおります。また、季節に関わりなく全て旅のイメージです。
- オーロラは自然現象のため、気象条件などにより観測いただけない場合がございます。
- イースター島では原則自由行動はできません。後日発表のオプションツアーにご参加ください。
- 横浜港乗船の方は神戸港にて、また神戸港乗船の方は横浜港にて一時下船ができません。
- ご自宅から集合・解散地等発着港までの交通費は含みません。

海外旅行保険への加入が必須です

ご旅行中に疾病や事故などの事態に遭遇し、思いもよらない高額な治療費用や救護費用などが発生した場合、法律上これらの費用は全てお客様個人のご負担となります。このような事態に備えるため、旅行期間のすべてがカバーされた海外旅行保険へ必ずご加入ください。海外旅行保険に加入されない場合、本旅行への参加をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

旅行変更費用補償特約の同時加入をおすすめします

クルーズの取消料はご出発の90日前から発生しますので、ご自身はもとより、ご家族・ご親戚の病氣・事故などでご旅行をキャンセルしなければならない場合に備えて「旅行変更費用補償特約」に加入することをおすすめします。

海外安全情報

外務省の治安に関する海外安全情報より「レベル1：十分注意してください」が下記の通り発出されておりますが、現地手配会社、関係省庁、船舶代理店などから最新情報を得て、当社が安全と確認しましたので本旅行を催行いたします。

「レベル1：十分注意してください」
香港、コロンボ、ポートサイド、クリストバル、カヤオ

尚、現地の治安および感染症など海外の安全に関する情報は、お客様自身でも確認していただきますようお願いいたします。

旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス（観光庁長官登録旅行業 第617号）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13
www.japangrace.com

一般社団法人日本旅行業協会正会員 旅行業公正取引協議会会員

振込口座 口座名義はいずれも (株) ジャパングレイス	三菱UFJ銀行 高田馬場支店 普通 1211859	三井住友銀行 高田馬場支店 普通 9103064	みずほ銀行 高田馬場支店 普通 1991082
---	--	---------------------------------------	--------------------------------------

Coordinated by

ピースボート 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1
TEL：03-3363-7561 / FAX：03-3363-7562 www.peaceboat.org

● PHOTO：PEACEBOAT、汰木志保、奥平啓太、中筋浩太、桃井一馬、水本俊也、磯貝美輝、Gettyimages、sutterstock.com、Pixa、アマナイメージズ、AdobeStock

お申し込みご相談は

(株)ジャパングレイス本社営業所

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13マリンビル2F

0570-030-617 10:00-17:00（定休：土日祝）

この電話は東京に着信し、通話料はお客様負担となります

FAX：03-5287-3083 (24時間受付)

総合旅行業務取扱管理者：延原和正・本山誠 ※

(株)ジャパングレイス大阪営業所

〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27桜橋千代田ビル8F

0570-060-617 10:00-17:00（定休：土日祝）

この電話は大阪に着信し、通話料はお客様負担となります

FAX：06-6442-3701 (24時間受付)

総合旅行業務取扱管理者：松本健介 ※

※ 総合旅行業務取扱管理者は、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者にお尋ねください。

【プライバシーポリシー】

当社は、旅行申込書に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等（主要な運送・宿泊機関等については各スケジュール表に記載されています）の提供するサービス手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。このほか当社では、将来、よりよい旅行商品の開発のためのマーケット分析や、当社の旅行商品のご案内をお客様にお届けするために、お客様の個人情報を利用させていただくことがあります。当社は、当社が保有するお客様の個人データのうち、氏名、住所、電話番号又はメールアドレスなどのお客様へのご連絡にあたり必要となる最小限の範囲のものについて、NGOピースボート及びゲットユニバーサル株式会社との間で、共同で利用させていただきます。NGOピースボート及びゲットユニバーサル株式会社は、催し物等のご案内、ご購入いただいた商品の発送等のために、これを利用させていただくことがあります。詳しくは当社ウェブサイトをご参照願います。

※ゲットユニバーサル株式会社は、当社が船上での英会話教室（グローバル・イングリッシュ・トレーニング/GET）の運営を委託しているグループ企業です。個人情報管理責任者：本山誠

神秘の地球に出逢う旅

The Amazing Nature

横浜発着 108日間
2024.8.16(金) - 12.1(日)

神戸発着 108日間
2024.8.17(土) - 12.2(月)

パシフィック・ワールド号でゆくピースボート地球一周の船旅

2024年8月 Voyage118

旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス

V118-B

パシフィック・ワールド号でゆく
ピースボート地球一周の船旅
2024年8月 Voyage118

横浜発着108日間 2024.8.16(金)-12.1(日)
神戸発着108日間 2024.8.17(土)-12.2(月)



P4-5

旅のハイライト

5夜連続のオーロラ観測チャンス オーロラシーズンの アイスランドへ

Iceland in Aurora Season

P6-7



アドリア海を囲む 美しい自然と歴史に彩られた国々

Adriatic Sea Countries
Surrounded by Beautiful Nature and History

P8-9



神秘の地 マチュピチュ遺跡を訪ねて

World Heritage : Machu Picchu

天空に舞う 光のファンタジー

The Amazing Aurora

さまざまな自然現象の中でも、飛びぬけて美しく、見る者の心をゆさぶる幻想的なオーロラ。
夜空に気まぐれに現れる光のヴェールに包まれる特別な体験は、忘れられない思い出となるでしょう。

オーロラ (イメージ)

5夜連続のオーロラ観測チャンス オーロラシーズンの アイスランドへ

Iceland in Aurora Season

国土の大半は火山地帯に属し、大地の12%を氷河に覆われていることから「火と氷の国」と呼ばれる北欧の島国アイスランド。この地でしか出会うことのできない圧倒的な大自然が訪れる人びとに感動を与えます。さらに、北欧らしいカラフルなレイキャビクの街は、街歩きにも最適！そして夜には、神秘的な光のヴェール・オーロラの観測へ――

昼も夜も、この季節に訪れるからこそ楽しめるアイスランドの魅力が目白押しです。

オーロラ発生のメカニズム

オーロラとは、太陽から発せられた「太陽風」と呼ばれる電気を帯びた粒子が地球の極地に吸い寄せられ、大気圏を通過する際に空気中の窒素や酸素と衝突して起こる発光現象。地上からおよそ100～500km上空で発生します。その存在は古代から知られ、神秘的な現象として中国やロシア、ノルウェーなど世界各地で神話や物語として語り継がれてきました。

観測に適したエリアとは

地球上でオーロラが最も頻繁に出現するのは、緯度が60～70度付近の「オーロラベルト」と呼ばれる帯状のエリア。北半球では北欧やアラスカ、カナダがこの圏内に属しています。中でもアイスランドは国土の大半がオーロラベルトの中に入っているうえ、他の北欧の鑑賞地と比較して気候も比較的温暖なため、オーロラ観測に最適な環境だといえます。

オーロラ観測を能動的に

陸地でのオーロラツアーは定点観測が一般的であるため、天候の影響を受けることも多く、雨雲ひとつで中止になることもしばしばです。その点、船はフットワークが軽く、オーロラと遭遇するチャンスにも恵まれています。船がオーロラベルトの圏内を航行する際には観測のスペシャリストが乗船し、オーロラの出現する晴れ間を求めてリアルタイムで進路を選びます。この“オーロラに向かって突き進んでいく感覚”が魅力です。



オーロラハンター
アクセル・オスカーソン
Axel Oskarsson

アイスランド生まれ。天文学と地学の見地から気象・磁場データを総合的に分析する、独自のオーロラ遭遇メソッドをもつ。過去4回ピースポートクルーズのオーロラ観測クルーズをコーディネートしている。昼間の船内で開催するオーロラ講座も大人気。

船からオーロラを観測するメリット

周囲に街灯もなく真っ暗な海上は360度を見渡せるため、どの方向にオーロラが出現しても安心です。暖かな船内でオーロラを待つことができるため、身体への負担が少ないことも船のメリットのひとつ。オーロラが出現したら、船内放送でご案内します。また船内ではオーロラベルトを航行する間、オーロラにまつわる世界各地の神話や発生の仕組みに関するレクチャー、オーロラ撮影講座などさまざまなイベントを行います。知識や撮影テクニックを身につけながら観測に臨むことができます。



オーロラの形と大きさ

オーロラの形状はさまざまです。それぞれの形は、オーロラの活動レベルや観測位置によって決まってきます。距離の遠いオーロラはアーチ状に見え、オーロラが発生しているポイントに近づくと、揺れ動くカーテン状の姿に変わります。そしてオーロラの真下では、天空から光が降り注いでくるかのようなコロナ状のオーロラに包まれます。

※2016年10月、2019年10月にピースポートクルーズ船上から撮影

アイスランドの昼 惑星「地球」の鼓動を体感する

「火と氷の国」アイスランドには、活発な火山活動や地殻変動、氷河の浸食などの作用によって形づくられた驚異的な風景が広がります。惑星「地球」を感じる、大自然の数々と出会います。



グトルフォスの滝

「黄金の滝」を意味するグトルフォスの滝。轟音と共に大量の水しぶきが舞い上がり、太陽光が差し込むと見事な虹がかけられます。



間欠泉

迫力満点の間欠泉は、まるで地球が呼吸しているかのよう。熱水が轟音とともに勢いよく吹き上げる様子は、まさに圧巻です。



ギャオ

シングヴェトリル国立公園で見られる「地球の割れ目」と呼ばれるギャオ。地球の息吹が感じられるダイナミックな風景です。



ブルーラグーン

世界最大の露天温湯施設ブルーラグーン。青みがかった乳白色のお湯が一面に広がる光景は、世界でも類を見ない美しさです。



ピラン (スロベニア)



1



2

1,4 城壁に囲まれた通りに迷い込んでみれば、住民の豊かな生活の息づかいをすぐそこに感じることができます (コトル) 2 アドリア海地域の特徴的なオレンジ屋根の風景 (コトル) 3 古い街並みを利用したおしゃれなレストランも多い (スプリト)

Adriatic Sea Countries

Surrounded by Beautiful Nature and History



イタリア半島とバルカン半島に挟まれたアドリア海は、幾多の民族と文化の交差を見守りながら今日も幻想的な青色をたたえています。4つの寄港地を通じて見えてくるのは、独特の地形が生み出した美しく穏やかな海の恵みを享受し栄えた街々と、昔の姿を残した旧市街の数々。そしてその美しさとは裏腹に、堅牢な城壁都市としての一面がありました。紺碧の海にちりばめられた、きらめく麗しき街々をめぐります。



トリエステ (イタリア)

アドリア海を囲む

美しい自然と歴史に彩られた国々



スプリト (クロアチア)



3



4



コトルでは、16世紀初頭に建てられた趣のある大時計クロックタワーを目印に散策を。



スプリトの古い教会も現役で、今も美しい音色の鐘を高らかに鳴り響かせています。



トリエステでは、多くの文化人たちに愛されてきた老舗カフェが街中にあります。



クロアチアワインの歴史は実は古く、そのルーツは紀元前に遡ります。



アドリア海自慢の新鮮なシーフード料理。歴史的、地理的にさまざまな国の影響を受け、食文化が豊かです。



クロアチアはアドリア海の太陽の恵みをいっぱい浴びたオリーブの産地としても有名です。



PICK UP!

水の都・ヴェネツィアへ

街全体に張りめぐらされた運河を渡る gondola をはじめ、サン・マルコ寺院やドゥカーレ宮殿など名所がたくさんあります。



神秘の地 マチュピチュ遺跡を訪ねて

World Heritage : Machu Picchu



大自然が広がるアンデスには、紀元前3000年頃から人びとの定住がはじまったと言われています。アンデス文明の系統における最後の先住民族国家インカ帝国の時代に「空中都市マチュピチュ」は誕生しました。この場所が持つ魅力とは——ペルー・リマに住み、ペルー文化の研究家を長年続け、日本マチュピチュ協会理事として活躍される阪根博さんとともにクルーズに先駆けてその魅力に迫ります。



阪根 博
Hiroshi Sakane

リマにある「天野博物館（祖父の故・天野芳太郎氏が設立）」の事務局長を務め、ペルー文化の研究・土器・織物の収集・研究家として発掘作業、博物館の運営に携わる。日本マチュピチュ協会理事。



アンデスに興った文明が凝縮された場所

アンデスの山中を分け入った先にあり、空からしか遺跡の存在を確認できないことから「空中都市」と呼ばれるマチュピチュは、ミステリアスで神秘的なスポットです。マチュピチュには、インカ帝国が登場する以前に栄えたさまざまな文明の技術や文化が凝縮されています。それは、鉄がない時代に石を切り出して磨く知恵、滑車もないのに巨大な石を積み上げる高度な技術、そして斜面で作物を栽培する自給自足の工夫。精緻な石組みで築かれた遺跡内を歩くと、暮らしに取り込まれた自然の摂理や、それを可能にした高度な技術を随所に見ることができます。しかし、これだけ発掘調査や科学的な調査が進んでも、未だに多くの謎が残されていることも確かです。

書き換えられる世界史

そもそも長い間、人類の文明としては、旧大陸*で文明が起こった後に、アメリカ大陸での文明が始まった、と考えられていました。しかし近年、リマから北に200キロメートルほどの地点から、紀元前約3,000年頃に築かれたピラミッド状の神殿跡や古代都市が発見され、その定説は覆されつつあります。この時期に造られた大型石造建築といえば、真っ先に思い浮かぶのはエジプトのピラミッドですが、この発見によって、旧大陸と新大陸はほぼ同時期に、まったく別々の土地に暮らす人間たちが似たような文明を築き始めた、ということが証明されたのです。ですから最近の歴史学では、このマチュピチュを造ったインカ文明とマヤ文明を加えた「六大文明」と呼ばれるようになってきています。さらに発掘調査は現在も、世界中で進んでいます。最近の南米の調査では、アマゾンの源流でおよそ5,600年前の遺跡が見つかっています。この調査が進めば、その歴史はまたしても更新されることでしょう。

※旧大陸：ヨーロッパ、アフリカ、アジアなど、コロンブスによるアメリカ大陸到達以前にヨーロッパの人びとに存在が知られていた地域



遺跡と自然が調和した唯一無二の地

マチュピチュは、インカ帝国の中の聖なる巡礼地だったのではないかと考える有力な説があります。確かにマチュピチュには、神殿や祭壇と思える場所が数多く残っています。でもそれ以上にこの地が「巡礼地だったのでは？」と思えるのは、マチュピチュ遺跡を見下ろす、この地点に立った瞬間に感じることでしよう。

人間が造った構造物と3,000メートル級の山々をもつ壮大な自然が、渾然一体と溶け合っていて、完璧なる調和を作り出しています。これほどまでに完璧なハーモニーを見せる場所は、世界に類を見ないものです。マチュピチュ遺跡は、ユネスコの世界遺産にも登録されていますが、ここは「世界複合遺産」*として登録されている数少ない場所のひとつです。マチュピチュにたたずみ、谷底から吹いてくるアンデスの風に吹かれていると、古代の人びとの世界観や宇宙観を感じることができて、神秘的な気持ちになります。

考古学とは面白いもので、発掘によって土の中から出てきたものによって、今日の常識が明日にはがらっと変わってしまうことも多々あります。ですが、マチュピチュを訪れて個人として何か感じるものがあつたならば、その感覚や印象には、正解も不正解もありません。ぜひあなただけのマチュピチュを見つけに、ペルーにお越しください。

※ユネスコの世界遺産は大きくわけて、「文化遺産」「自然遺産」「複合遺産」の3つに分類されます。複合遺産は、文化遺産と自然遺産両方の登録基準を満たすもので、世界遺産全1,154件のうちわずかに39件と数少ない貴重な遺産です。（2021年8月時点）



「世界のいま」を感じる 世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧

中国
温州

東西の文化が同居する
華やかな大都会

モンテネグロ
コトル

フィヨルドの深部にたたずむ
美しき城塞都市

米国
ニューヨーク

自由の女神が出迎える
全米一の大都市

タヒチ
パペーテ

自然豊かな南洋の楽園で
育まれた伝統にふれる

香港

街角のにぎわいが心地よい
華やかな大都会

イタリア
トリエステ

イタリア北部に花開いた
オーストリア文化にふれる

パナマ
クリストバル

太平洋とカリブ海をつなぐ
壮大な運河の玄関口

タヒチ
ボラボラ島

「太平洋の真珠」で過ごす
極上のひととき

シンガポール

多様なルーツと最先端が
交わるアジアの交差点

スロベニア
コベル

紺碧のアドリア海に面した
歴史あふれる港町

ペルー
カヤオ

インカの失われた都市
空中都市・マチュピチュへ

米国
カフルイ【マウイ島】

マウイ島の海の玄関口
神秘に満ちた火山の島へ

スリランカ
コロンボ

インドの南東に浮かぶ
「光り輝く島」の中心都市

クロアチア
スプリト

古代ローマの宮殿跡に
築かれた世界遺産の旧市街

チリ
イースター島

謎多き巨像に護られた
美しき絶海の孤島

米国
ホノルル【オアフ島】

自然も文化も贅沢に
味わえるビーチリゾート

エジプト
ポートサイド

広大な砂漠にたたずむ
悠久の古代文明と出会う

ポルトガル
リスボン

大航海時代の栄華が薫る
美食の都へ

ギリシャ
サントリーニ島

三日月型の島を彩る
青と白のコントラスト

スペイン
ア・コルーニャ

遥かフランスから続く
「巡礼の道」の終着地へ

ギリシャ
ピレウス

無数の古代遺跡と共にある
街はまるで歴史博物館

アイスランド
レイキャビク

北欧の島国で神秘に満ちた
地球の息吹を体感する



多様なニーズに合わせて選べる船室の数々



バルコニースイート

プライベート空間でも海を身近に感じられる、海側に面した船室を豊富に備えたパシフィック・ワールド号。旅の目的に合わせ、自由にお選びいただける船室設定です。



スタンダードバルコニー



シングルエコノミー

- 最少催行人数：600名

● 船中泊

● 日本人添乗員が同行します
- 食事：朝106回、昼106回、夕106回

● 医師、看護師が乗船します
- 使用客船：パシフィック・ワールド号（総トン数：77,441トン／全長：261.3メートル／全幅：32.25メートル／喫水：8.1メートル／乗客定員：2,419名／運航会社：シーホークコーポレーションリミテッドインク）

旅行代金一覧（単位：円）

船室クラス	バルコニー／窓	フロア		ベアタイプ (2人部屋)	シングルタイプ (1人部屋)	セミシングルタイプ (2人相部屋)	フレンドリータイプ (3～4人相部屋)
バルコニースイート	バルコニー付	8－10	A	7,200,000	—	—	—
ジュニアスイート		8－10	B	5,800,000	—	—	—
スタンダードバルコニーⅠ		11－12	C	3,500,000	I	6,300,000	—
スタンダードバルコニーⅡ		9－10	D	3,300,000	J	5,940,000	—
アウトサイドⅠ	窓あり	8－11	E	2,580,000	K	4,644,000	E2 2,680,000
アウトサイドⅡ		5－6	F	2,480,000	L	4,464,000	F2 2,580,000
エコノミー	窓なし	8－12	G	2,280,000	M	4,104,000	G2 2,380,000
バジェット		5－6	H	1,880,000	N	3,384,000	H2 1,980,000
						H4 1,980,000	H4 4名 1,780,000

別途諸経費

チップ合計	ポートチャージ合計	ビザ取得代金合計	国際観光旅客税
86,400	50,000	18,500	1,000

※2022年7月19日現在の金額です

パシフィック・ワールド号でゆくピースボート地球一周の船旅
2024年8月 Voyage118

横浜発着108日間 2024.8.16(金)～12.1(日) 神戸発着108日間 2024.8.17(土)～12.2(月)

★ 初寄港

日程		寄港地	
8.16 金	出航 午後	横浜	
8.17 土	出航 夜	神戸	
8.21 水	入港 午前 出港 夜	温州★	中国
8.24 土	入港 朝 出港 夜	香港	
8.26 月	入港 朝 出港 深夜	シンガポール	
8.31 土	入港 朝 出港 夜	コロンボ	スリランカ
スエズ運河通航			
9.11 水	入港 午後	ポートサイド	エジプト
9.12 木	出港 深夜		
9.14 土	錨泊 朝 発 夜	サントリーニ島	ギリシャ
9.15 日	入港 朝 出港 夜	ピレウス	ギリシャ
9.17 火	入港 午前 出港 午後	コトル	モンテネグロ
9.18 水	入港 午後	トリエステ★	イタリア
9.19 木	出港 深夜		
9.20 金	入港 早朝 出港 夜	コベル★	スロベニア
9.21 土	入港 午前 出港 夜	スプリト★	クロアチア
9.26 木	入港 午前 出港 夜	リスボン	ポルトガル
9.28 土	入港 朝 出港 夜	ア・コルーニャ	スペイン
10.1 火	1回目のオーロラチャンス		
10.2 水	2回目のオーロラチャンス		
10.3 木	3回目のオーロラチャンス		
10.4 金	4回目のオーロラチャンス		
10.5 土	入港 朝	レイキャビク	アイスランド
	出港 夜	5回目のオーロラチャンス	
10.12 土	入港 朝	ニューヨーク	米国
10.13 日	出港 深夜		
10.19 土	入港 午前	クリストバル	パナマ
10.20 日	出港 早朝		
パナマ運河通航			
10.24 木	入港 午前	カヤオ	ペルー
10.25 金	停泊		
10.26 土	停泊		
10.27 日	出港 深夜		
11.2 土	錨泊 朝 発 夜	イースター島	チリ
11.11 月	入港 朝 出港 夜	パペーテ	タヒチ
11.12 火	錨泊 午前 発 夜	ボラボラ島	タヒチ
11.19 火	入港 午前 出港 深夜	カフルイ【マウイ島】★	米国
11.20 水	入港 午前	ホノルル【オアフ島】	米国
11.21 木	出港 午後		
12.1 日	帰港 午前	横浜	
12.2 月	帰港 午後	神戸	

※訪問地や航路は、天候や海の状況による船長判断、その他の理由により変更する場合があります。

0:00～	4:00～	6:00～	8:00～	12:00～	18:00～	23:00～
深夜	早朝	朝	午前	午後	夜	深夜